

# 五七の桐は政府の紋章

フリーランスライター 藤木 順平

ニュースでのコロナ対応の政府「答弁にうんざり。ならば、と演壇に目を移すと、その中央に青地に何やら描かれているものを発見。実はこれ「内閣総理大臣・日本政府・内閣府の紋章」で、桐の紋章（桐紋）なのだ。古来、桐紋は菊の代わりに皇室の紋章としても使われ、時の権力者たちも家紋として用いた。桐は中国神話で靈鳥とされた鳳凰がとまる唯一の木として神聖視されていた。

下世話な話になるが、花札で12月の絵柄の一つに「鳳凰と桐」が描かれているのがあるが、これは20点札で価値が高い！この点から見ても桐の偉さがわかるはず…。

さまざまな紋章の中でいちばん権威があるのは、国を象徴する

「国章」だろう。日本の国章は、慣例として菊の紋章が使われる。アメリカの国章はワシが羽を広げてオリーブの枝とか矢をつかんでいる。背景の文字とか絵柄には、それぞれ独立当時の歴史的な意味があるらしい。イギリスはライオンとユニコーンが何やらを支えているものだ。

話を演壇の桐の紋章に戻そう。先が見通せずはつきりしない政府答弁。これを「霧に包まれた答弁」という。いけない！「笑点」の三平みたいなオチになっちゃった。

### 【筆者紹介】

藤木順平（ふじき・じゅんぺい）  
フリーランスライター。日本笑い学会会員。

## 訃 報

当会の元会長

泉 清治 殿が5月22日ご逝去されました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。



## 7つの間違い探し

●右の絵と左の絵には相違点が7か所あります。見つけられますか？（答えは11頁にあります）



「作者紹介」  
神谷一郎（かみや・いちろう）専修大学法学部卒後、漫画プロダクションを経て漫画家に。現在はフリーランスのイラストレーターとして、雑誌・広告・水彩画挿絵等で活躍中。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索